



低侵襲最新医療システムを提供する



株式会社ウイン・インターナショナル 個人投資家向け会社説明会 資料

WIN INTERNATIONAL CO., LTD.

証券コード:2744

株式会社ウイン・インターナショナル

代表取締役社長 秋沢 英海

目次



1. 会社概要	3
会社概要	4
経営理念・経営指針	5
主たる事業	6
2. 事業内容と業績	7
日本の医療における論点	8
当社の取組み～低侵襲最新医療システム～	9
低侵襲最新医療システムの詳細	10
決算サマリー	18
収益性の分析	19
3. 基本戦略と今期について	21
基本戦略	22
今期予想の前提	25
今期予想(2013年3月期予想)	26
営業戦術～医療機関の診療報酬改定の影響～	27
事業展開～エリアの拡大:主要都市への体制を構築～	28
4. 長期トレンド・株価指標	30



WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

1. 会社概要

会社概要



社名及び由来：株式会社ウイン・インターナショナル

“New Innovative Wave”

設立：昭和58(1983)年6月1日
本社：東京都台東区台東4 - 24 - 8
資本金：3億30百万円
事業内容：医療機器販売事業
代表者及び役員構成：代表取締役社長 秋沢 英海
他、取締役 3名(うち、社外取締役 1名)
監査役 3名(うち、社外監査役 2名)
従業員：265名
上場証券取引所：大阪証券取引所 JASDAQ(スタンダード)

[平成24年3月末日現在] 4

経営理念

新しい医療周辺ビジネスの構築を通じて社会に貢献していく

経営指針

安全・安心・信頼を第一義に創意工夫と感謝の念を持って、社員総意で企業価値を高め社会に対して貢献する。

(考え方)

その仕事は、正しいのか正しくないのか

その仕事は、お客様のためになるのか

その仕事は、我々にとって力を発揮できる仕事か

低侵襲最新医療システムの提供

低侵襲とは

検査や治療において、身体に対する侵襲、
つまり**身体的負担（熱・出血・苦痛）を**
できるだけ少なくすること。

患者様の**生活の質（QOL=Quality of life）を向上**
させることが可能で、
このような治療法が増えてきております。





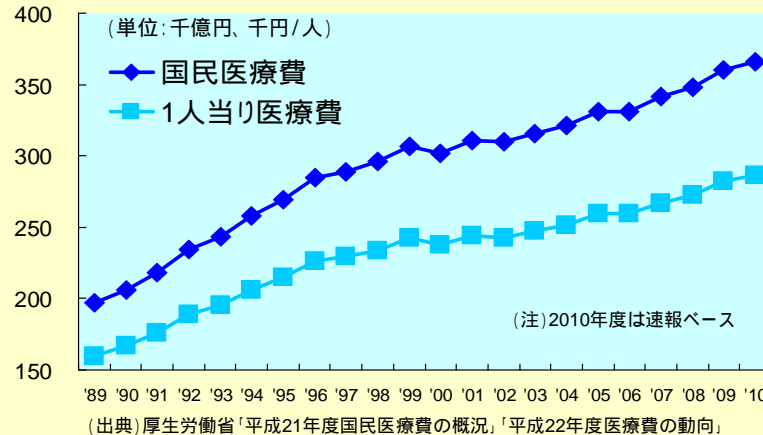
WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

2. 事業内容と業績

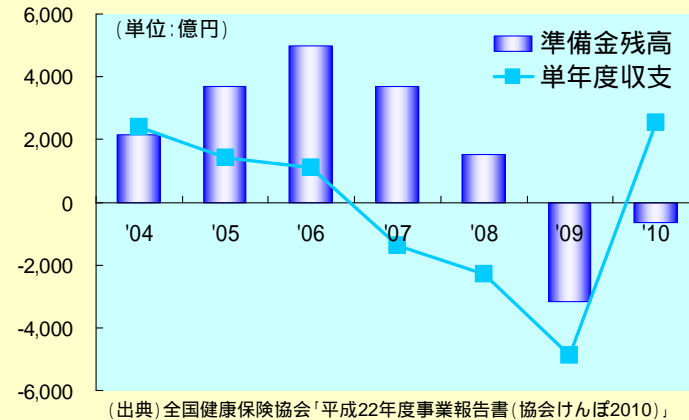
日本の医療における論点

国民医療費

国民医療費の増大



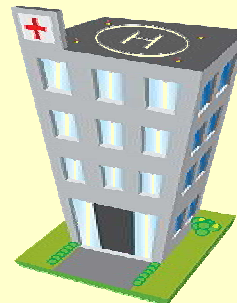
医療財政の悪化



効率的・効果的な医療資源の配分



医療費の最適化
適正化余地の追及



病院経営の合理化
(集中と選択)

高品質・効率的医療の提供



より効果的な治療
必要とされる分野の充実



医療技術の
進歩の促進・導入

取組み

課題に対する当社の取組み

低侵襲最新医療システム



早期回復



身体的負担が軽減

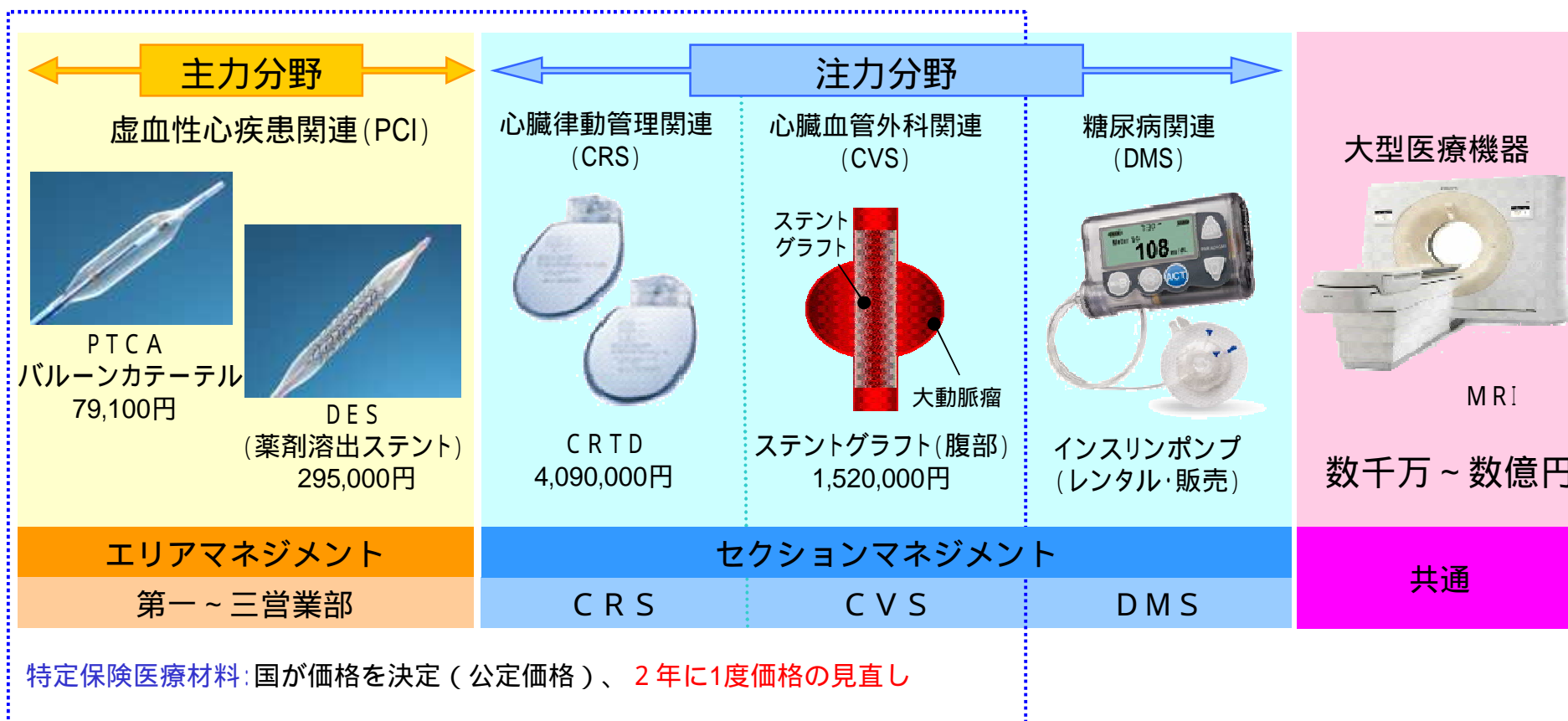


医療費抑制に寄与

低侵襲最新医療システムの詳細

“低侵襲治療”、“心臓治療”の医療機器が主軸。

- ・ “低侵襲治療”の領域を拡大：心臓から下肢や脳血管等の他の診療領域に拡大させる
- ・ 患者様の生活の質の改善に貢献：糖尿病の新しい治療法インスリンポンプ療法の普及に努める



主力分野～虚血性心疾患関連(PCI)～

PCI(経皮的冠動脈形成術)

狭心症など血管が狭まり血流が悪化する疾患(虚血性心疾患)を血管内部から治療する方法

PTCAバルーンカテーテル



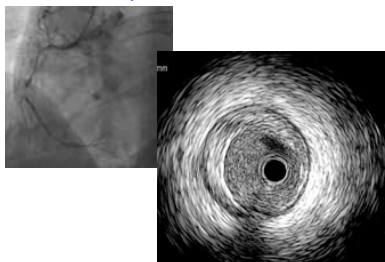
狭窄(血管が狭くなること)箇所ではバルーンを膨らませ、血管を広げ血流を改善させる。

DES(薬剤溶出ステント)



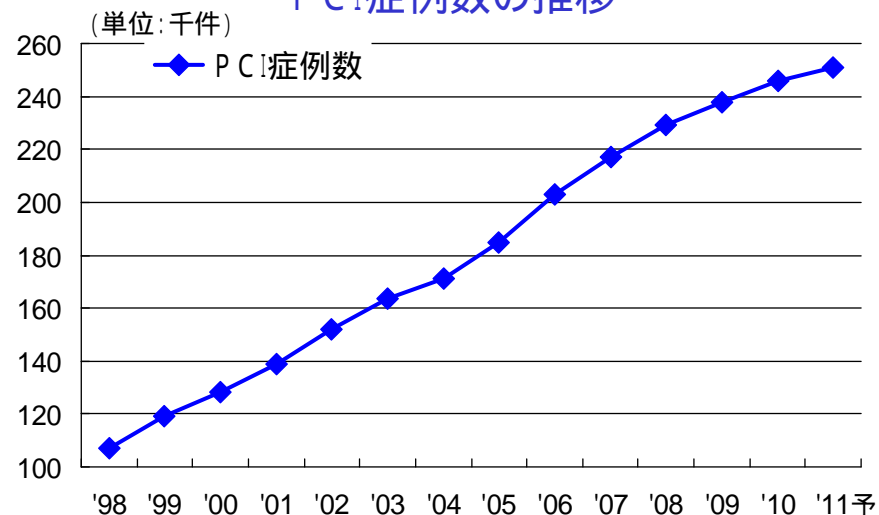
狭窄箇所では筒状の網目の金属(ステント)を留置し、再狭窄を防ぐ。ステントに再狭窄を抑制する薬剤が塗布されているものをDESという。薬は時間をかけて溶出する。

IVUS(血管内超音波診断用カテーテル)

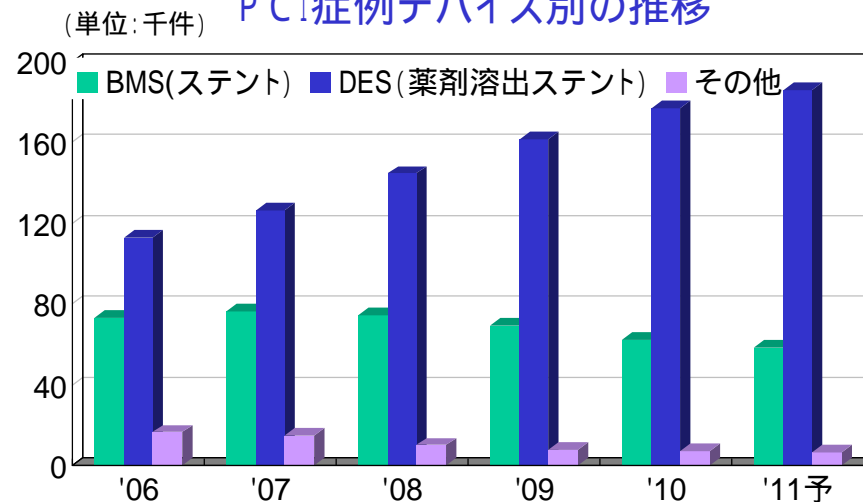


超音波で血管内部を映像化する診断装置用カテーテル。PCIの前後に使用する。

PCI症例数の推移



PCI症例デバイス別の推移



(出典) R & D「医療機器・用品年鑑2011年版」

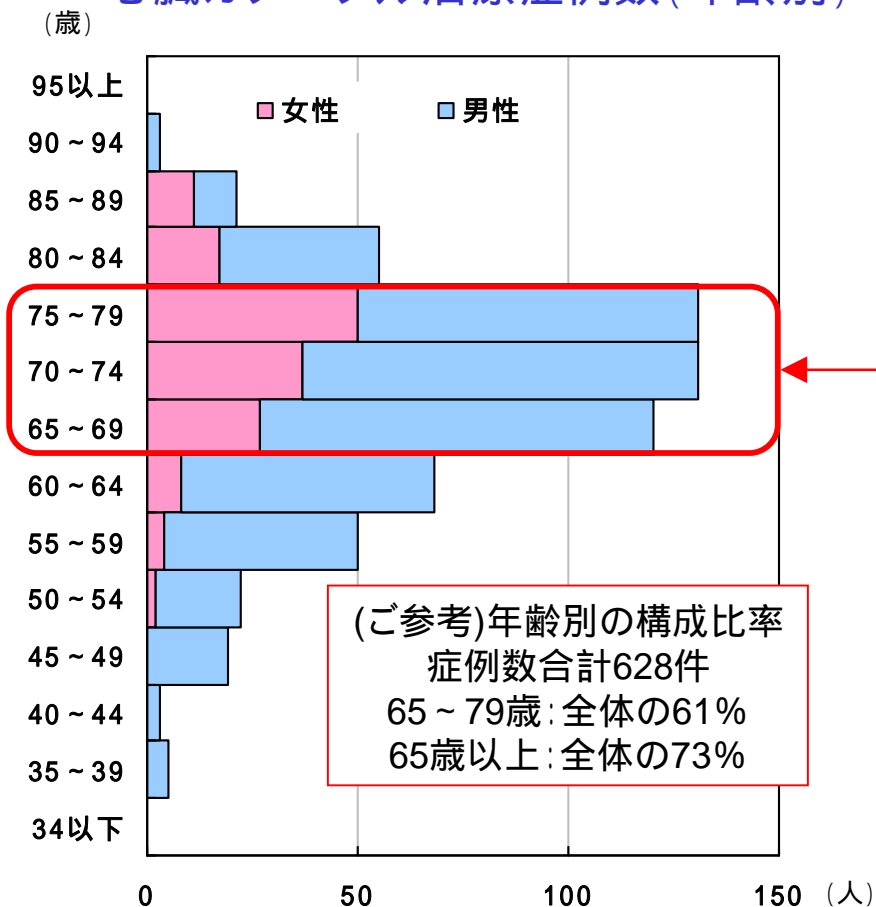
(参考)主力分野(PCI)を取り巻く環境～高齢化～



PCIの中心患者は65歳～79歳

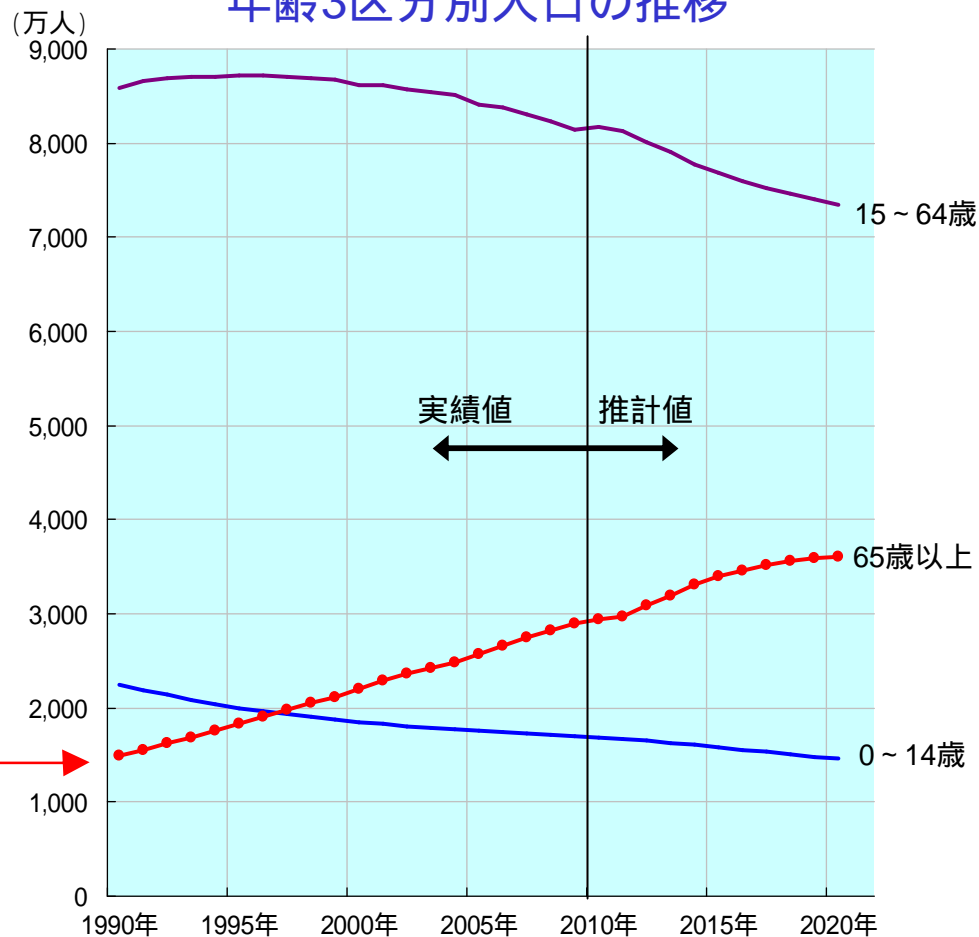
中心患者(65歳～79歳)人口が増加

心臓カテーテル治療症例数(年齢別)



(出典)当社取引先の3ヶ月間の年齢別症例数

年齢3区分別人口の推移



(出典)国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成24年1月推計) 12

(参考)主力分野(PCI)を取り巻く環境～首都圏～

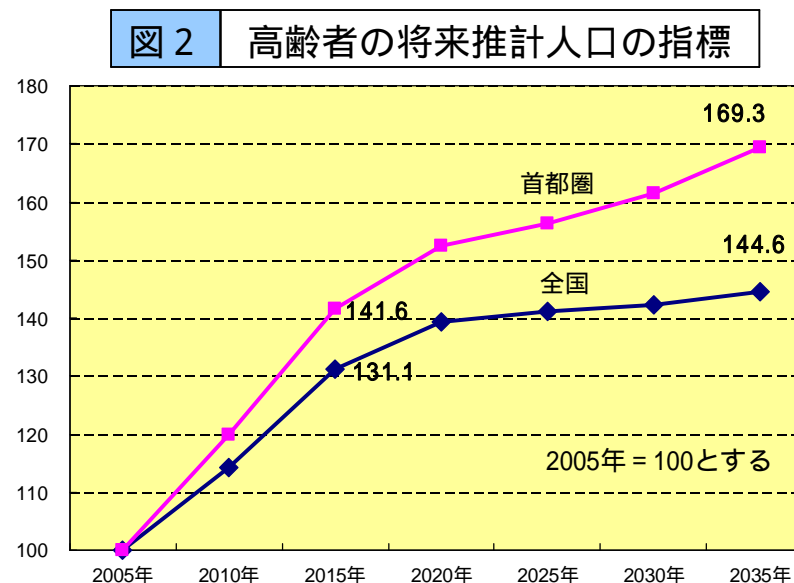
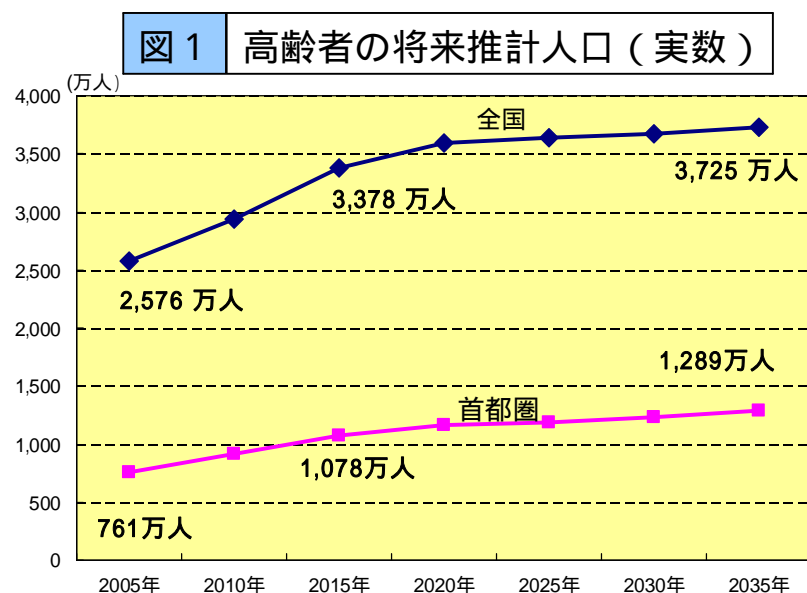


高齢者人口の動向

2015年までの高齢者人口の増加状況

【首都圏の高齢者人口】《2005年》761万人 《2015年》1,078万人…約320万人増加(図1)。

【高齢者人口増加率】指標:2005年を100 2015年《全国》131.1 < 《首都圏》141.6(図2)。



(出典)国立社会保障・人口問題研究所「日本の市町村別将来推計人口」(平成20年12月推計)

注力分野～心臓律動管理関連(CRS)～

ICD・CRTD移植術

心筋に電気刺激を与える医療機器(ICD・CRTD)を体内に埋め込み、心臓に異常拍動が生じた際には電気刺激を与え、症状を抑える。

ペースメーカー



心臓の鼓動が途切れたことを検知すると、電氣的刺激を心臓に送り、正常なリズムで鼓動させる

ICD (植込型除細動器)



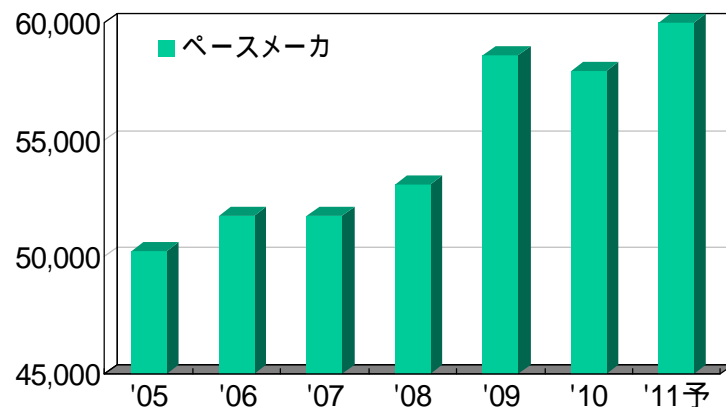
ペースメーカー機能に加えて、命に関わる症状が出た場合には、電気ショックで発作を止める機能がある

CRTD (両室パージング機能付き植込型除細動器)

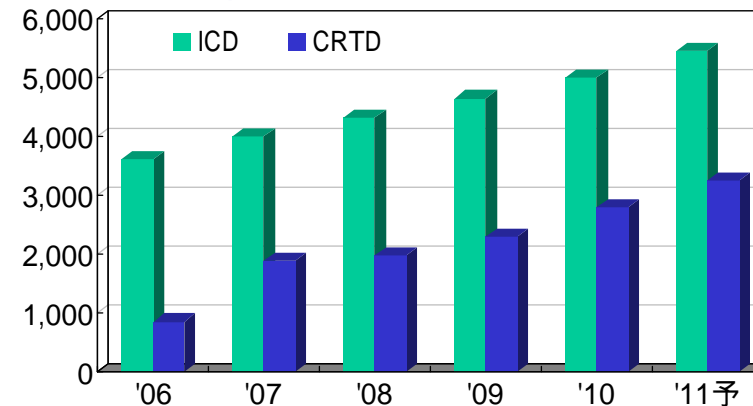


ペースメーカー機能、ICD機能に加えて、心不全を治療する機能がある

(単位:個) ペースメーカー販売数の推移



(単位:個) 除細動器販売数の推移



(出典) R & D「医療機器・用品年鑑2011年版」

注力分野 ~ 心臓血管外科関連 (CVS) ~

ステントグラフト内挿術

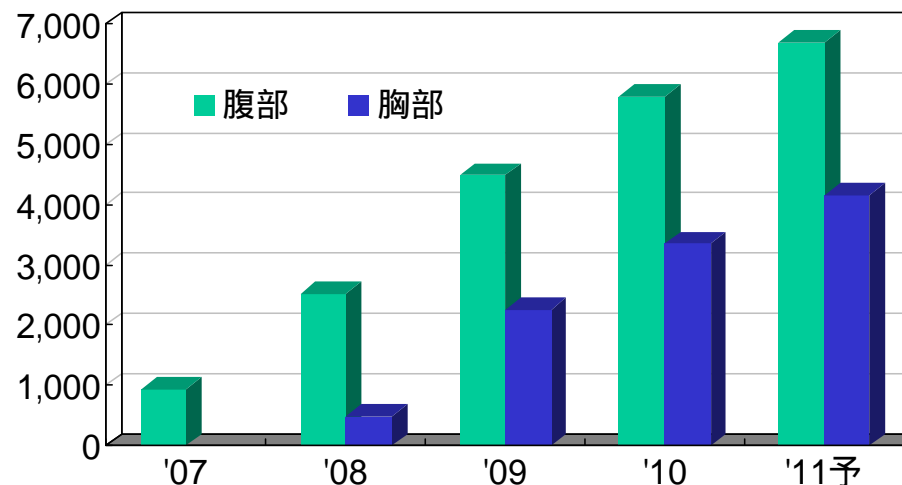
・ステント(筒状の金属)が付いた新型人工血管(=ステントグラフト)を患部に留置し、大動脈瘤への血流を遮り、破裂を防ぐ。

・従来の治療法は、外科手術(開胸/開腹手術)が一般的だったが、最近では低侵襲治療法であるステントグラフト内挿術が普及し始めている。

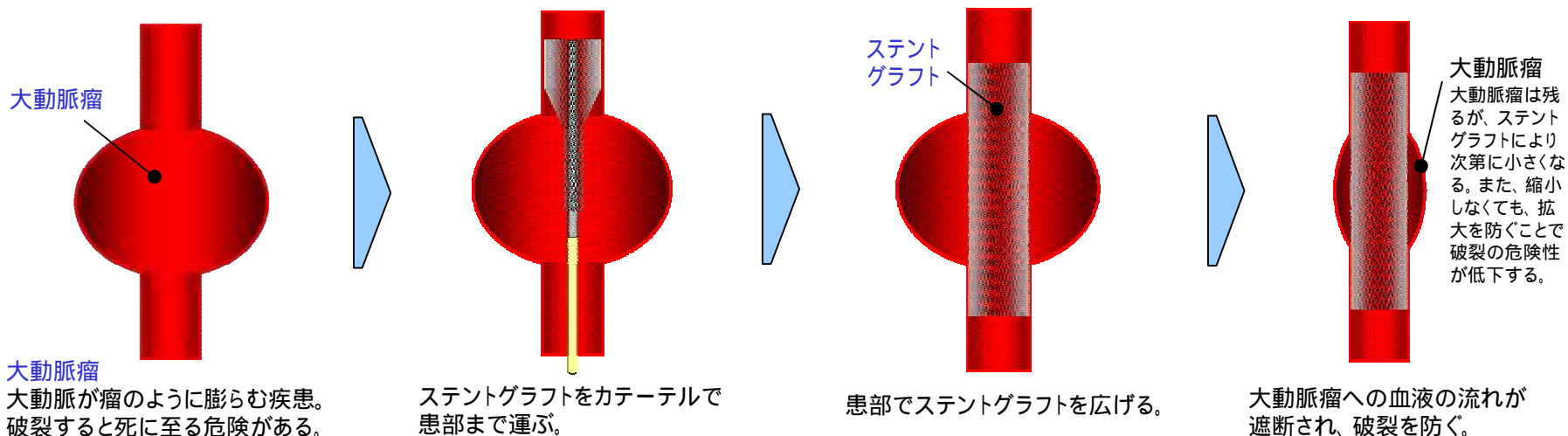
(参考)米国における2006年の 人口血管置換術の内訳
外科手術:ステントグラフト手術 = 4:6

(単位:台)

ステントグラフト販売数の推移



(出典) R&D「医療機器・用品年鑑2011年版」



注力分野～糖尿病関連(DMS)～

インスリンポンプ療法

- ・インスリンを持続的に注入するコンピュータ制御の小型医療機器による糖尿病の治療法
- ・欧米では普及していますが、日本国内では一般的でない治療法

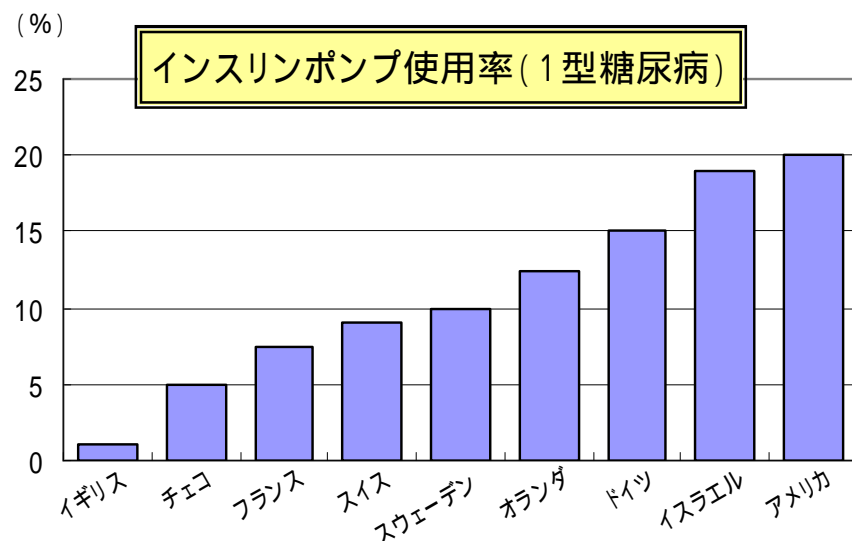


【糖尿病を取り巻く状況】

- ・糖尿病患者は全国に2,210万人と推定
(参考:「国民健康・栄養調査(平成19年)」)
糖尿病が「強く疑われる人」890万人、
「可能性を否定できない人」の1,320万人
- ・現在、日本における一般的な治療法はインスリン自己注射療法である。

【当社の取組み】

- ・糖尿病治療の新しい治療法
“インスリンポンプ療法”の普及、啓蒙サポート
*インスリンポンプ療法は、患者様の負担軽減によるQOL(生活の質)の改善が可能となる治療法
- ・合併症により循環器疾患となった患者様に
対応する当社ネットワークの活用
*インスリンポンプ療法の普及に取組むとともに、
糖尿病による合併症(循環器疾患)への対応サポート

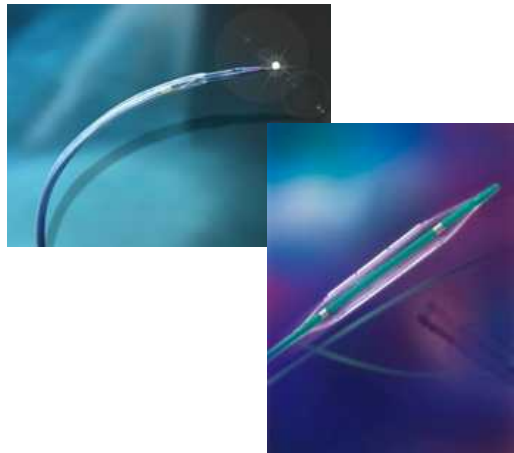


(出典)「Insulin Pump Services-Report of the Insulin Pumps Working Group」(Diabetes UK, 2007年)

新しい低侵襲治療の普及、領域の拡大

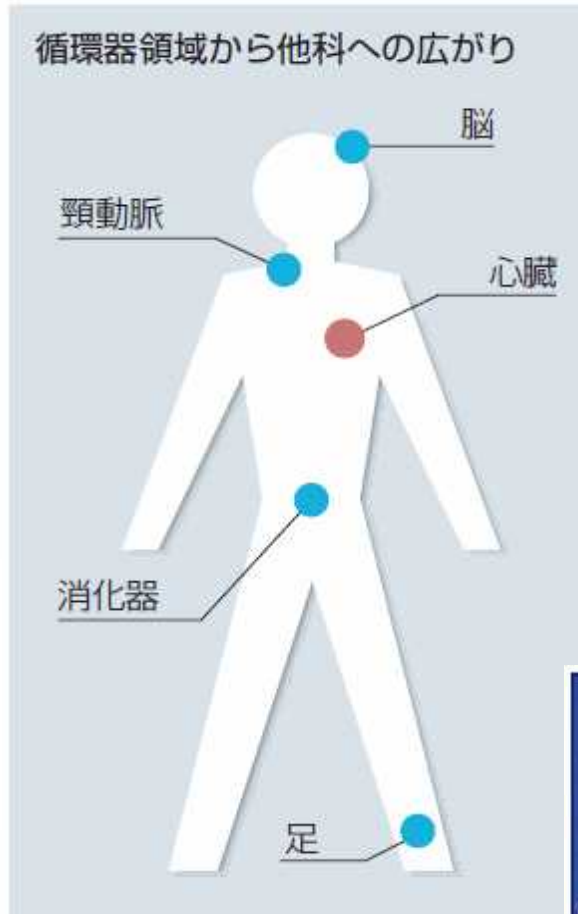
“低侵襲治療”を心臓以外の領域へと拡大 (下肢・頭頸部・腹部領域)

PTAカテーテル・マイクロカテーテル



© 2005 Boston Scientific Corporation or its affiliates. All rights reserved.

循環器領域から他科への広がり



RFAジェネレータ / ハンドピース



塞栓コイル / CAS (頸動脈ステント)



決算サマリー

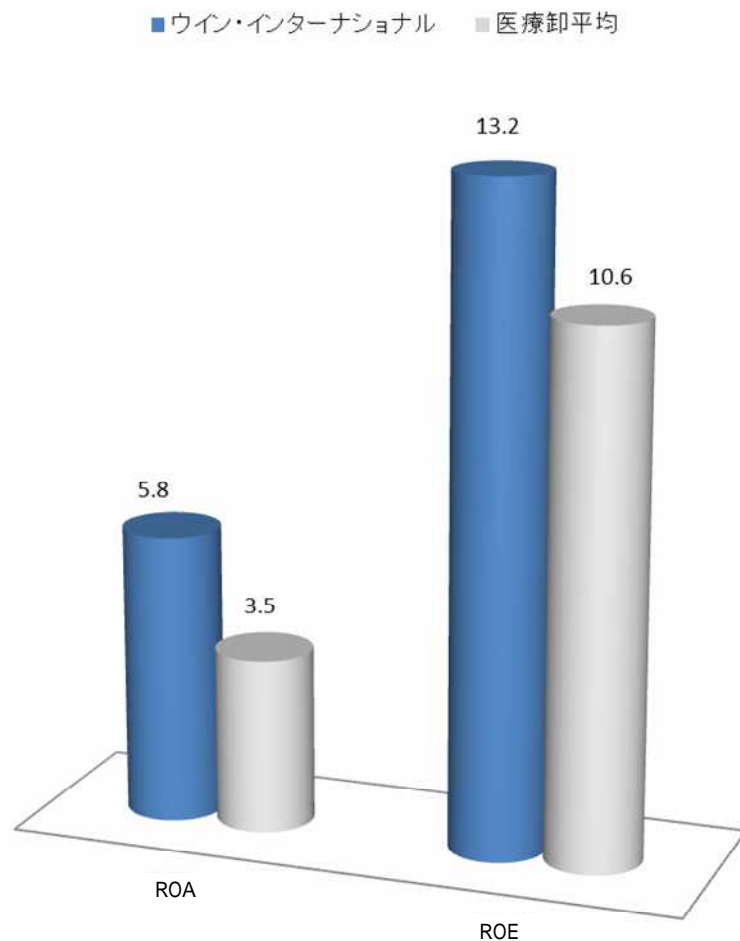


	2011年3月期 (実績)		2012年3月期 (実績)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年 同期比 (%)
売上高	29,258	100.0	32,957	100.0	+12.6
営業利益	1,449	5.0	1,648	5.0	+13.7
経常利益	1,461	5.0	1,657	5.0	+13.5
当期純利益	854	2.9	955	2.9	+11.9
1株当たり当期純利益 (円)	69.41	-	78.23	-	+12.7
1株当たり純資産 (円)	542.47	-	594.88	-	+9.7
1株当たり配当金 (円)	25.00	-	28.00	-	+12.0

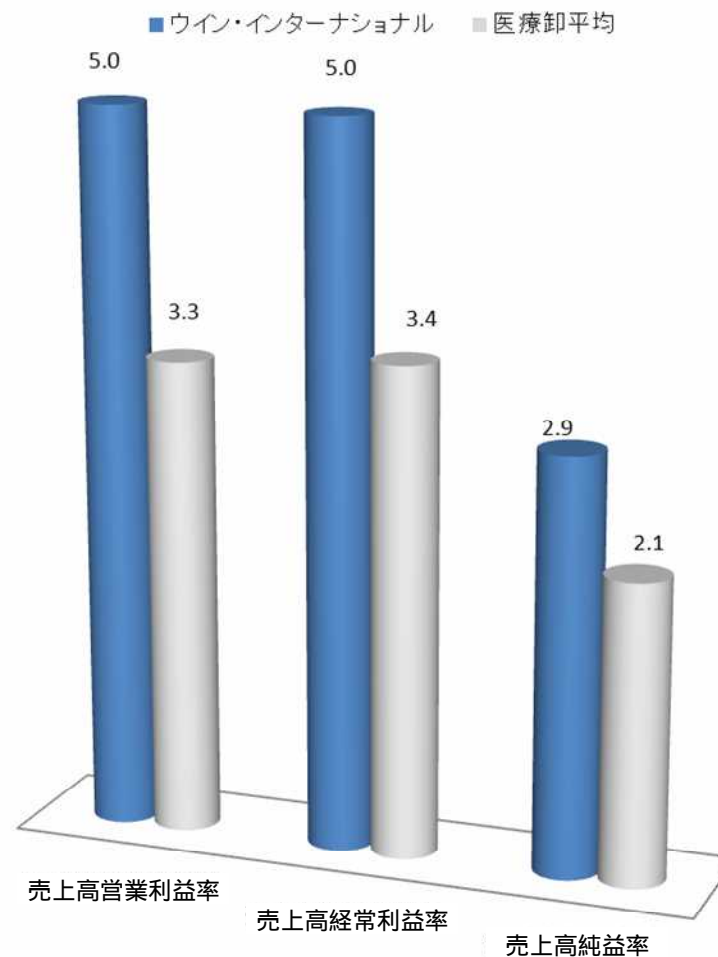
過去最高の売上高、利益の達成、2桁成長を記録

収益性の分析

ROA・ROE (%)



利益率 (%)

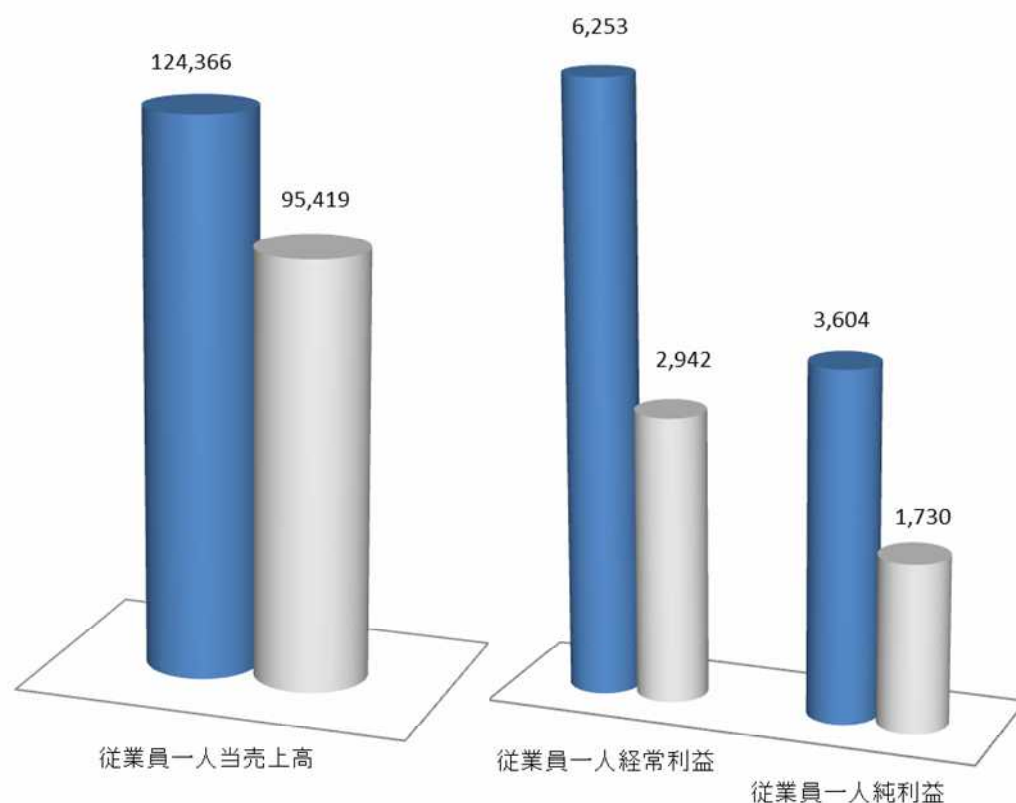


出所: KCR総研(2012年4月30日時点 医療卸平均はウイン・インターナショナル(WIN)、山下医科器械、メディアスホールディングス、シップヘルスケアホールディングス、ディーブイエックス、日本ライフラインの6社。フローは直近予想(WIN、日本ライフラインは直近発表数字)、アセットは直近開示資料を基に作成)

生産性・安全性の分析

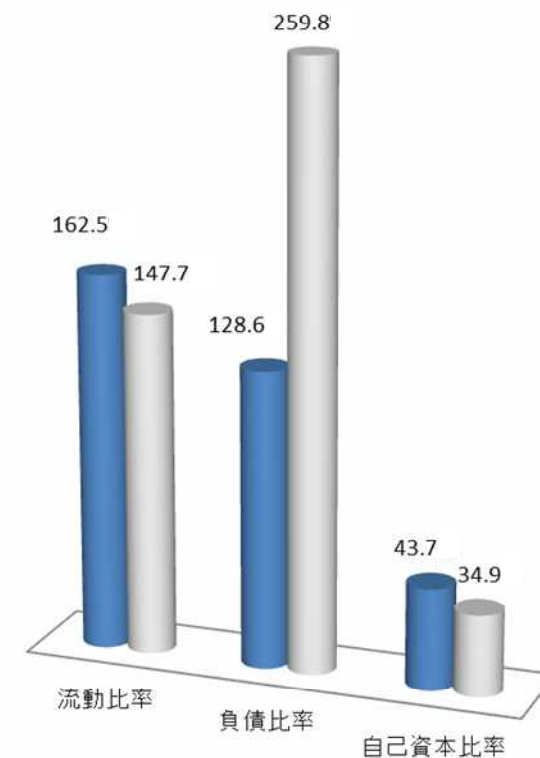
生産性(千円)

■ ウイン・インターナショナル ■ 医療卸平均



安全性(%)

■ ウイン・インターナショナル ■ 医療卸平均



出所: KCR総研(2012年4月30日時点) 医療卸平均はウイン・インターナショナル(WIN)、山下医科器械、メディアスホールディングス、シップヘルスケアホールディングス、ディーブイエックス、日本ライフラインの6社。フローは直近予想(WIN、日本ライフラインは直近発表数字)、アセットは直近開示資料を基に作成)



WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

3. 基本戦略と今期について

POINT

病院経営の目線からの提案

専門性

集中戦略

低侵襲最新医療システムの推進で目指すもの

POINT : 病院経営の目線からの提案

- ・医療機関を構成する
3極(医師、経営陣、事務方)
それぞれのニーズに沿った各種施策提案
人材補強施策 / 設備投資施策 / 集患施策



医療費の
最適化

低侵襲最新医療システム
を推進

医療の質
の向上

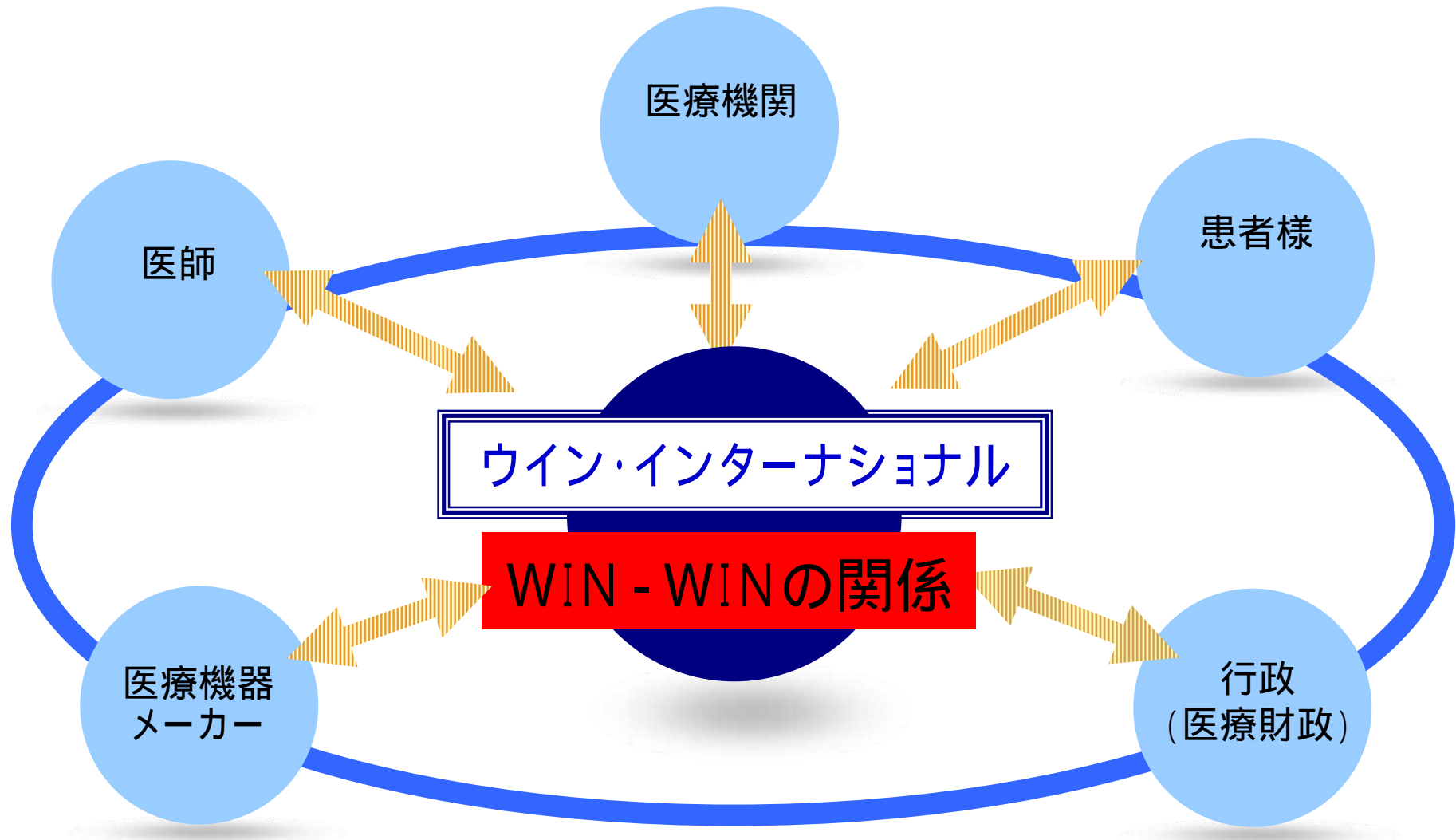
POINT : 専門性

- ・高度な商品知識、サービスの提供
- ・医療施設の高度医療化をサポート
- ・医療機器メーカーへの提案

POINT : 集中戦略

- ・顧客: 有力医療施設(プロ中のプロ)との取引拡大
- ・製品: 低侵襲医療分野の高付加価値製品
- ・エリア: 首都圏での販売強化 シェア拡大(全国展開)

低侵襲最新医療システム推進の結果：WIN-WINの関係



今期予想の前提



2013年3月期 売上高 34,049百万円 (前期比 + 3.3%)

【マイナス要素】 9.0%

2012年診療報酬改定により、当社取扱製品の公定価格が引き下げ

2012年3月期の当社売上を基準とした場合、約 9.0%

【プラス要素】 + 12.3%

既存取引先の売上増

- ・病院の症例数の増加: 低侵襲治療の浸透、患者の集中、診療報酬(手技料等)の引き上げ
- ・営業活動による取引量の増加: 院内シェアの拡大(取引量、診療科を拡大)
- ・その他: デバイス使用率の上昇、1症例あたりの製品使用数の増加、設備投資・大型機械案件の獲得

新規取引先の獲得等

- ・首都圏を中心に各エリアで営業活動を展開: 注力エリア: 関東北部エリア、中四国エリア
- ・出張所を開設: 2012年2月 山口出張所、2012年4月 札幌出張所開設

今期予想 (2013年3月期予想)



	2012年3月期(実績)		2013年3月期(予想)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前期比 (%)
売上高	32,957	100.0	34,049	100.0	+3.3
営業利益	1,648	5.0	1,652	4.9	+0.2
経常利益	1,657	5.0	1,657	4.9	+0.0
当期純利益	955	2.9	1,009	3.0	+5.7
1株当たり純利益(円)	78.23	-	82.74	-	+5.8
1株当たり配当金(円)	28.00	-	29.00	-	+3.6

償還改定の年であるが、増収増益を目指す

営業戦術～医療機関の診療報酬改定の影響～

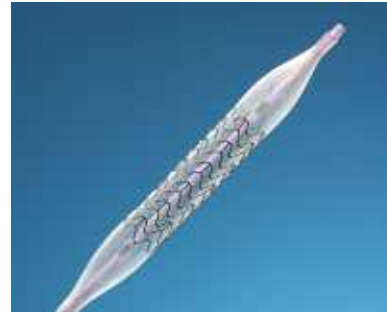
主力分野：虚血性心疾患関連（PCI）

PTCAバルーンカテーテル



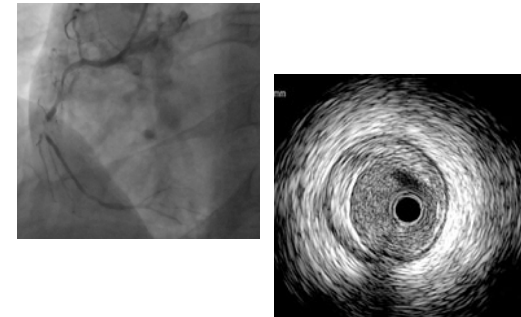
経皮的冠動脈ステント留置術の前に行い、血管の狭くなっている部分を広げる。

DES（薬剤溶出ステント）



手技料：経皮的冠動脈ステント留置術
220,000円 243,800円 (+23,800円)

IVUS（血管内超音波診断用カテーテル）



経皮的冠動脈ステント留置術の前後で使用される。

注力分野

心臓律動管理関連（CRS）

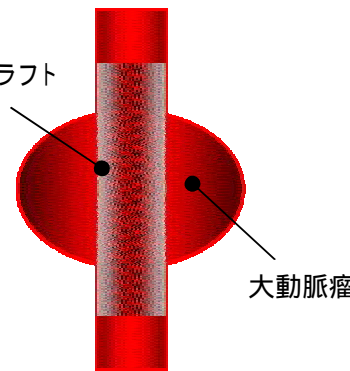
CRTD
(両心室ペーシング機能付植込み型除細動器)



手技料：CRTD移植術
210,000円 320,000円 (+110,000円)

心臓血管外科関連（CVS）

ステントグラフト



大動脈瘤

手技料：ステントグラフト内装術（腹部大動脈）
474,000円 494,400円 (+20,400円)

糖尿病関連（DMS）

インスリンポンプ



管理指導料：
在宅自己注射指導管理料
8,200円 12,300円 (+4,100円)
間歇注入シリンジポンプ加算
15,000円 25,000円 (+10,000円)

事業展開～エリアの拡大:主要都市への体制を構築～

(医療機器販売事業)

< エリアマネジメント >
第一～三営業部



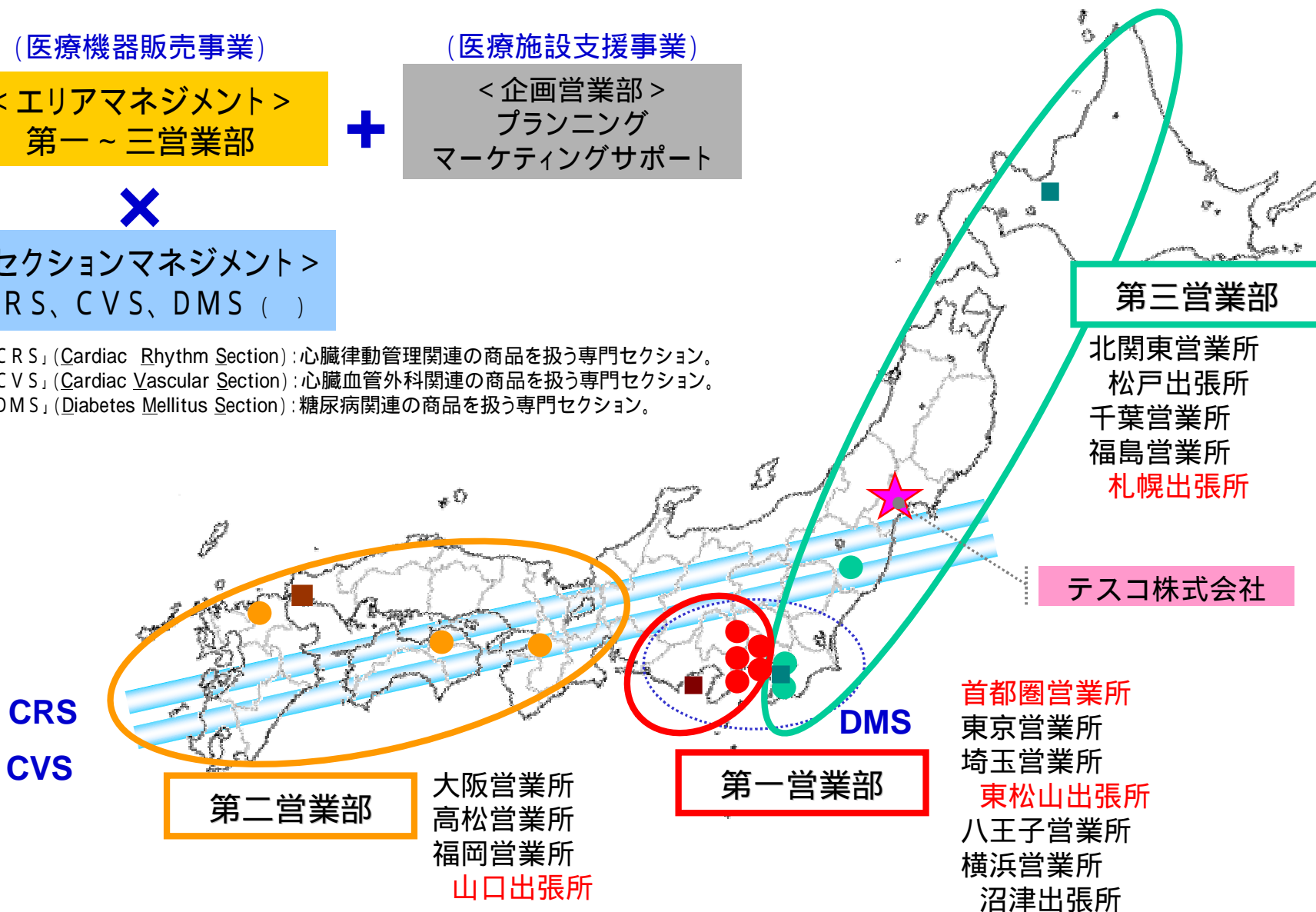
(医療施設支援事業)

< 企画営業部 >
プランニング
マーケティングサポート



< セクションマネジメント >
CRS、CVS、DMS ()

- () 「CRS」(Cardiac Rhythm Section):心臓律動管理関連の商品を扱う専門セクション。
- () 「CVS」(Cardiac Vascular Section):心臓血管外科関連の商品を扱う専門セクション。
- () 「DMS」(Diabetes Mellitus Section):糖尿病関連の商品を扱う専門セクション。



事業展開～規模の拡大:テスコ株式会社との経営統合～



1. 資本関係の強化について

主力商品である循環器領域をはじめとする低侵襲治療の分野を中心にシェア拡大を実現し、スケールメリットの追求をしていくため、テスコ株式会社との間の資本関係を強化し、共同仕入を軸とした業務提携の更なる発展を目指していくものです。

2. 株式の追加取得の内容

平成24年7月を目途に、テスコ株式会社の発行済み株式を、次のとおり取得する予定です。

【テスコ株式会社の概要】

本店所在地	宮城県仙台市青葉区木町1番1号
代表者の氏名	代表取締役社長 秋田 裕二
設立年月日	昭和48年12月22日
資本金	20百万円
主な事業内容	医療機器・消耗品販売
従業員数	63名
売上高	7,127百万円(平成23年5月期)
主な営業エリア	宮城県、福島県

【株式取得の概要】

株式の取得先	秋田喜枝子氏 及び 秋田淳一氏
取得株数	普通株式 43,420株 (秋田喜枝子氏から27,830株、 秋田淳一氏から15,590株取得)
取得前の議決権比率	4.2%
取得後の議決権比率	27.0%

3. 経営統合に向けた検討について

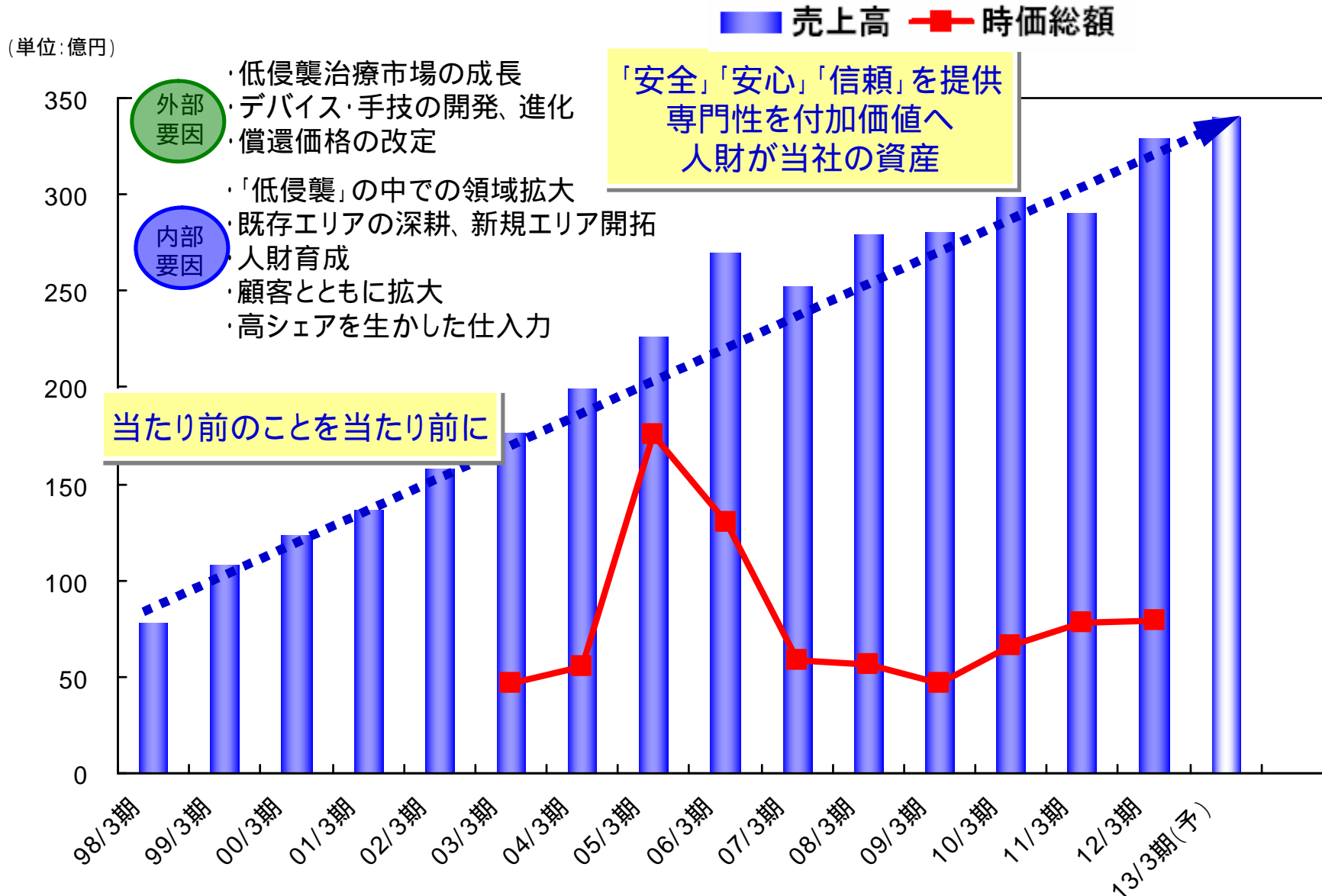
両社の一層の競争力強化と収益力強化による企業価値の増大を目指し、対等の精神を持ってできるだけ早期に両社の経営統合を実施すべく、検討を開始いたします。

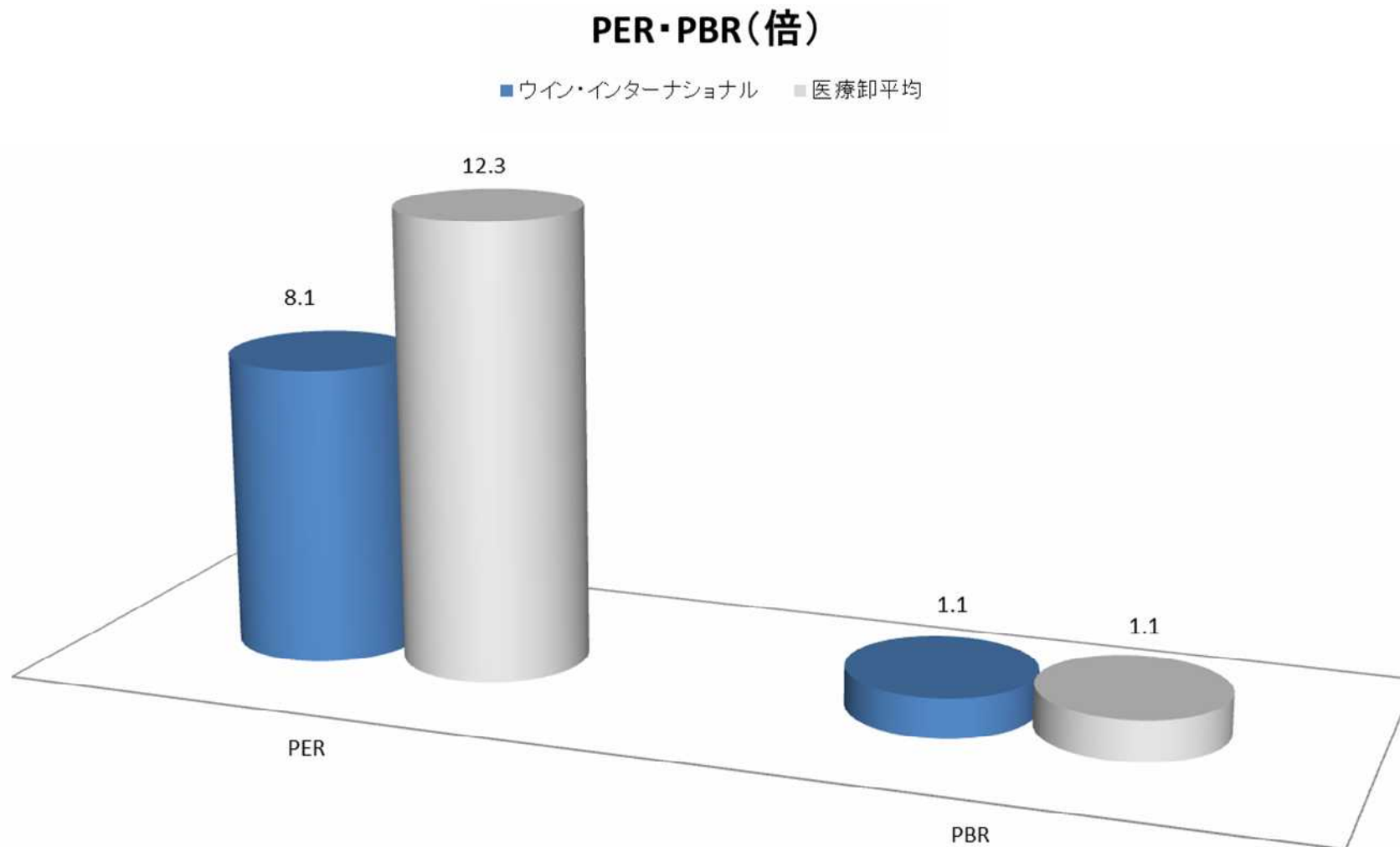


WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

4. 長期トレンド・株価指標

長期トレンド



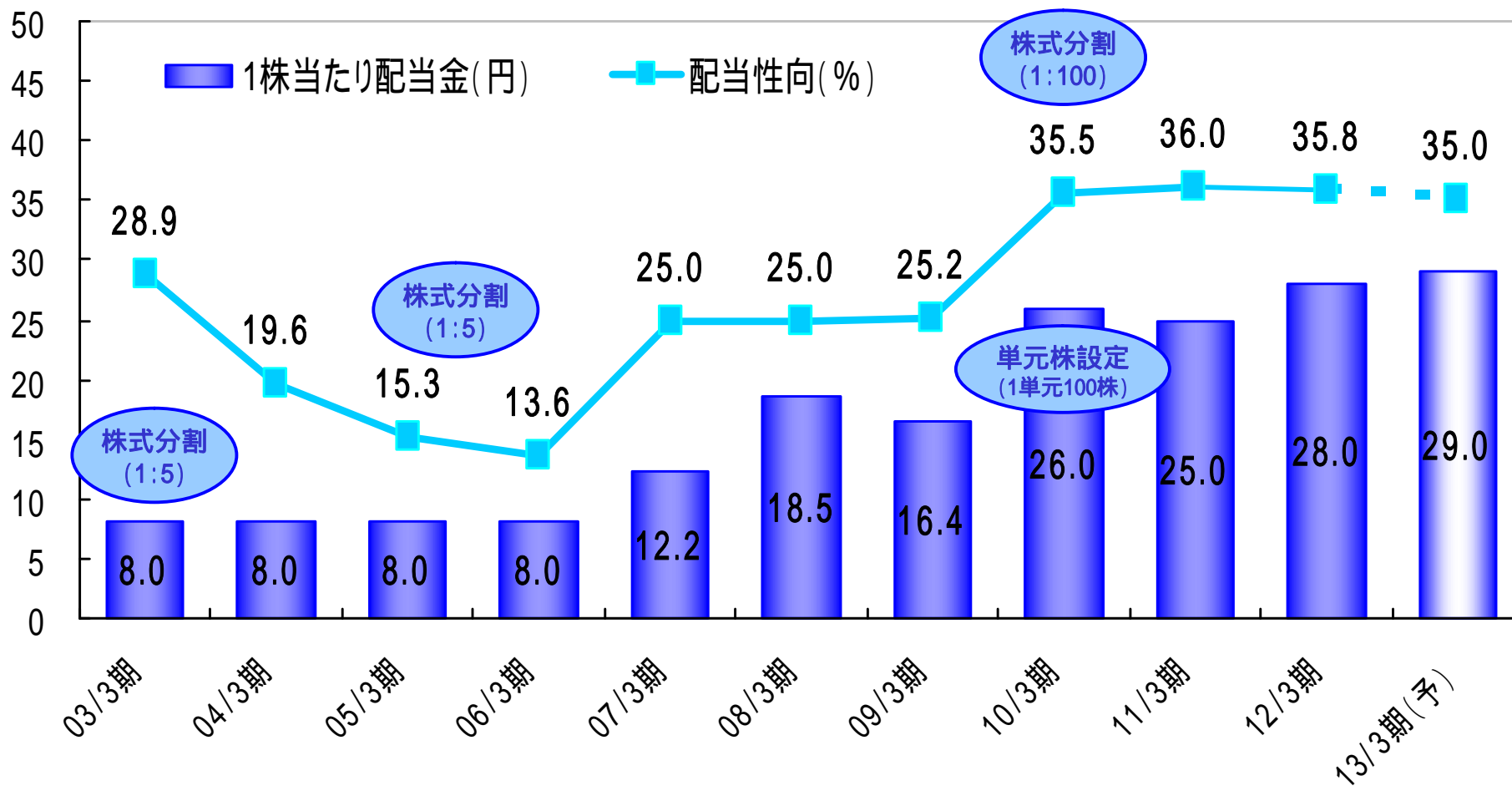


出所: KCR総研(2012年4月30日時点 医療卸平均はウイン・インターナショナル(WIN)、山下医科器械、メディアスホールディングス、シップヘルスケアホールディングス、ディーブイエックス、日本ライフラインの6社。フローは直近予想(WIN、日本ライフラインは直近発表数字)、アセットは直近開示資料を基に作成)

株主還元(配当性向35%以上)

株主還元策
配当性向35%以上を維持

(単位:円、%)



低侵襲最新医療システムを提供する ウイン・インターナショナル

この資料は投資家の参考に資するため、株式会社ウイン・インターナショナル(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。
当資料に記載された内容は、2012年5月10日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
投資を行う際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料に関するお問合せ先



WIN INTERNATIONAL CO.,LTD

株式会社ウイン・インターナショナル 総務部 IR担当
TEL : 03-5688-0878 FAX : 03-5688-0891

IRサイトの更新、決算・そのほか重要事項の最新情報を、
随時Eメールにてお知らせする**IRメールマガジン**を配信中!!
登録は、当社ホームページ(<http://www.win-int.co.jp>)から